

persistent supravenuous eruption

ボルテゾミブ



62歳，男．1993年にIgG- κ 型多発性骨髄腫を指摘され，2007年からボルテゾミブ＋デキサメタゾン療法で加療．89回目の同療法施行の翌日から，投与経路である静脈の走行に一致した線状および蛇

行状の紅斑が左前腕に出現．静脈走行に一致した鱗屑を伴う紅斑や小水疱が左前腕にみられる．左図矢印は生検部位，右図矢印は薬剤注入部位．

(森原 潔ほか：皮膚病診療 34：363, 2012)